

内陸エリア

白石市 角田市 登米市 栗原市 大崎市
 蔵王町 七ヶ宿町 大河原町 村田町 柴田町
 川崎町 丸森町 大和町 大郷町 富谷町
 大衡村 色麻町 加美町 涌谷町 美里町



内陸部に完成した災害公営住宅（大崎市）

内陸エリアは、太平洋に面していない宮城県内陸部の20市町村です。津波の被害こそなかったものの、栗原市で最大震度7を記録するなど、全半壊の住家が10,000棟に及ぶ大きな被害を受けました。

インフラ関連では、県の北部地域を東西に結ぶ「みやぎ県北高速幹線道路」の整備が進められています。既に加倉IC～登米市迫町北方向が開通していますが、残る中田、佐沼、築館の各工区においても、用地買収や本格的な工事に着手しました。この道路は、被災地への復興支援や災害時の救助・救援活動を担う「復興支援道路」として位置付けられています。

教育・文化関連では、平成27年4月、震災で損壊した大崎市岩出山の国指定史跡名勝「旧有備館および庭園」の復旧工事が完了しました。旧有備館は、1677年頃に建てられたと言われており、江戸時代の岩出山伊達家の学問所としても使われ、現在までその姿を伝えています。震災により主屋や付属屋に被害がありましたが、できる限り元の材料を再利用して復旧しました。

平成28年度中には、登米市で建設中の災害公営住宅が完成し、内陸部の災害公営住宅の整備が全て完了する予定です。

内陸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	32人	10,550人
行方不明者	6人	1,238人
全壊	1,346棟	82,999棟
半壊	8,502棟	155,129棟

〔平成28年2月29日現在〕

応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成28年2月
プレハブ住宅	282人	0人
民間賃貸借上住宅	5,148人	1,667人
計	5,430人	1,667人

〔平成28年2月29日現在〕

災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成27年2月	平成28年2月
計画戸数	360戸	360戸
着手戸数	336戸	360戸
完了戸数	245戸	336戸

〔平成28年2月29日現在〕



整備が進む「みやぎ県北高速幹線道路」（登米市・栗原市）



復旧工事が完了した「旧有備館」（大崎市）

2015年4月20日 月曜日

川崎町から被災地へ羽ばたくフェニックス (川崎町)



震災からの復興を願いみちのく公園から被災地へスイセンを届けようと2011年に始まった「花譜プロジェクト」。被災地へのメッセージとして2万球のスイセンで描かれたのは「フェニックス」。その後球根は、“分身”として七ヶ浜や石巻、東松島にも植栽されています。

2015年4月27日 月曜日

復興祈願が込められた800匹のこいのぼり (白石市)



毎年恒例の材木岩公園のこいのぼり。傷みがひどくなり不要になったこいのぼりの寄付を呼び掛けているところ、2012年には震災復興応援の手紙とともに日本各地から500匹が集まりました！今年はさらに増えて800匹のこいのぼりが風に乗って豪快にはためています。

2015年5月8日 金曜日

倒壊から4年。よみがえる藩政時代の風景～旧有備館内覧会 (大崎市)



度重なる災害に見舞われ倒壊した岩出山にある国指定史跡・名勝「旧有備館および庭園」がようやく復旧しました。「復興へ向かう宮城の、そして東北中の人たちの励みになれたらうれしいです」と管理人の佐々木広行さんは話します。

2015年5月13日 水曜日

千年先も花よ咲け (名取市、七ヶ宿町、山形県)



名取市関上で「閉上クラフトエイド2015」が行われた4月26日、日和山に桜の苗木を植えるセレモニーを開催。実行委員会の横尾和義さんは「津波に耐えた桜の木の諦めない心の物語を広く伝え、震災の記憶の伝承と教訓を結びつける活動をし続けたい」と話します。

2015年6月15日 月曜日

設問作りが後世への伝承に。クロスロード合宿 (富谷町)

災害シミュレーションカードゲーム「クロスロード」の設問作り挑戦合宿が行われました。「設問を増やすことは震災の体験を伝えることにもなる。このツールを使って、子どもたちにも伝えていきたい」と参加者も熱心に取り組んでいました。



2015年7月10日 金曜日

栗原の大地の動きを感じよう～子どもたちのジオパーク体験～ (栗原市)

7年前の2008年6月15日に起きた「岩手宮城内陸地震」。最大震度6強、マグニチュード7.2もの巨大地震で大きく変形した栗駒山一帯の地形を、地震を伝え防災教育に役立つ貴重なジオパークとして活用する取り組みが進んでいます。



2015年7月20日 月曜日

ジオを感じるワンデイトリップ。栗駒山日帰り登山 (栗原市)

ジオパーク構想の推進と併せて観光客を増やすため、総合的な観光情報の発信にも努めている栗原市。その要となる標高1627mの栗駒山には、登山初心者から上級者まで楽しめるコースがあり人気を集めています。



2015年10月19日 月曜日

“未来をかなでる” 写真家 チャリティー・カレンダー・プロジェクト (栗原市、南三陸町)

東京のデザイン・印刷会社大伸社の社員有志が立ち上げた「みちのく応援団」。東北の風景写真で綴られたカレンダーの売上を震災孤児の支援団体等に寄付してきました。5年目のテーマは「かなでる」。写真家の齋藤陽道さんたちが被災地を訪れました。

